



しお た みつ ゆき
塩田 充幸 さん(70歳)

加持地区出身

一生の思い出になる。楽しんで走りたい。

昭和39年に開催された「第18回東京オリンピック」の時、大方中学校の3年生で陸上部に入部していた塩田さん。その時に同級生の友人が聖火ランナーに選ばれたことがとても印象的だったと話します。家族や親せきの勧めもあり、今回の聖火ランナーに応募。内定が決まり、今は県外に住むその友人に「55年経って追いついた」と、喜びの電話を掛けたそうです。

「走ることが好き。誰でもできんことをさせてもらえることに感謝して、楽しんで走りたい」と話しました。

塩田さんは、4月20日(月)午後1時頃から午後2時頃、四万十町役場周辺のリレーに参加予定です。



町民2名が東京2020オリンピックに聖火をつなぐ

高知県では、4月20日(月)・21日(火)の2日間、高知県を代表する177名の聖火ランナーがたくさん思いとともに聖火をつなぐ予定です。黒潮町から参加予定の2名の方を紹介します。

支えてくれている家族と仲間へ感謝。

林さんは中村高校の水泳部出身。約70年水泳を続け、平成30年に「第35回日本マスターズ水泳選手権大会」の100mバタフライ(85歳から89歳の部)で世界記録を樹立しました。オリンピック聖火リレー高知県実行委員会の推薦を受け、不安もあったそうですが、娘や孫たちに「こんな機会ないけん、おじいちゃん走って」と言われ、走る決意が固まったそうです。

「家族や仲間を支えられているという感謝と高齢者や病氣と闘う人へ勇気と希望を持ってもらえるよう走りたい」と話しました。

林さんは、4月20日(月)午後3時頃から午後4時頃、四万十市役所周辺のリレーに参加予定です。



はやし たかし
林 崇 さん(87歳)

入野地区出身

※3月中旬にインタビューした内容です。聖火リレーは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施内容の変更や延期、中止となる場合があります。

臨時休校中の子どもたち、昼食受け取り笑顔



新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的に3月4日(水)から臨時休校となった町内小中学校。

黒潮町では、学校で栄養バランスの整った学校給食を食べることができなくなった児童・生徒に対し、3月9日(月)から19日(木)の平日の間、希望のあった世帯に給食の代わりとなる昼食を給食センターがお弁当式にして配食を行いました。

町教育委員会は各世帯に対し、配食の希望や個人情報提供の同意書の提出を依頼し配布先を決定。その後、町内のボランティア団体など、多くの関係者の協力のもと、各家庭に配食を行いました。

最終日の3月19日(木)、配食先は174世帯262人。同日、入野小学校に通う小橋陽くん(5年)・蒼くん(4年)・隼くん(1年)兄弟は、ボランティアの松本美弥子さんから笑顔で昼食を受け取り、「給食は美味しいから嬉しい」と話しました。また、母親の小橋有子さんも、「普段子どもたちが食べ慣れている味をこうして届けてくれるのは本当に助かる。子どもたちも喜んで食べている」と話しました。



①子どもたちのお昼ご飯を給食センターからトラックへ搬入



②給食センターから受け取った昼食を各学校で地区別に仕分け



③ボランティアの方々各家庭へ配達

協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

【協力団体】NPO法人しいのみ、ボランティアくじら、町婦人連合会、各地区長、民生委員、社会福祉協議会、そのほか地域の皆さん